

山陰道(北条道路)の整備促進 要望

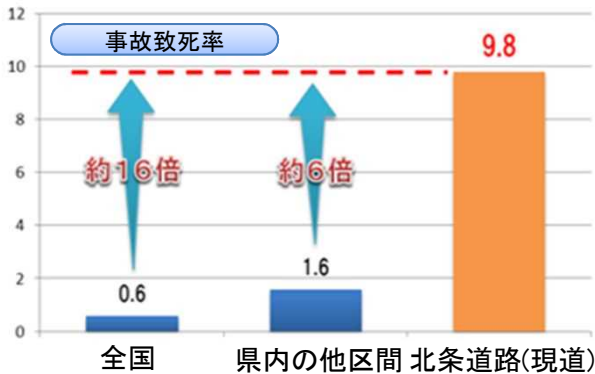
北条道路 無信号を含む平面交差点を中心に重大事故が頻発!!



交通事故の減少と事故に起因する渋滞を解消し、円滑な人流・物流の確保による生産性向上のため、北条道路の交通安全対策を含む整備促進を図ること。

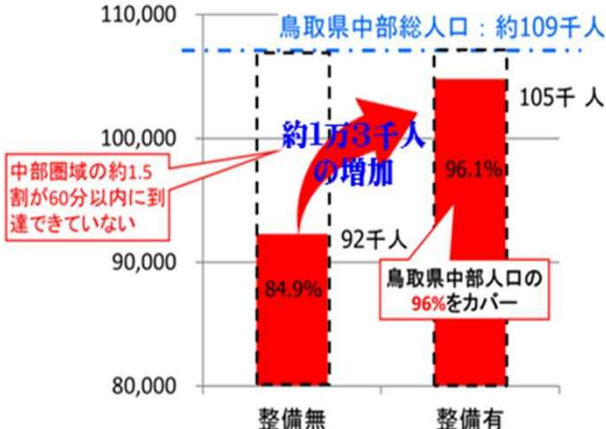
事故の減少

北条道路(現道)の事故致死率は全国平均の16倍もあり、北条道路の整備により安心して利用できる道路ネットワークを構築!!



救命率の向上

高速道路の整備により、東・西部地域の第3次救急医療施設からの60分圏域を拡大し、中部地域へのカバー率を増加!!



経済活動の活発化

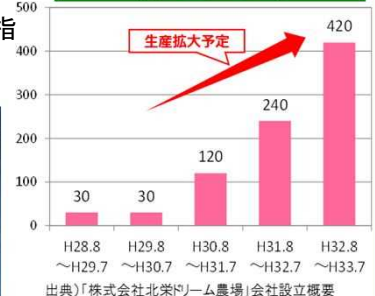
北条道路の整備により鳥取県の東西が1つに繋ぎ、周辺圏域とのアクセスを向上させ、県内全域を均等に発展!!

農産物の販路拡大

新たなブランドとして、イチゴの産地形成を目指し、農業を活性化



北条イチゴ産地生産計画 (紅ほっぺ、とっておき)



水産物の販路拡大



琴浦町赤碕の赤碕港に地下水を使った銀ザケの陸上養殖場が今年10月5日に操業開始。年間で幼魚と成魚計600トンを生産し、大山琴浦サーモンとして売り出し、水産物を活性化

企業誘致の促進

県の成長産業である電子部品・デバイス産業等の指定集積業種を支援しながら、関西圏・中京圏への拡大も視野に入れた企業誘致を展開

西倉吉工業団地全体の従業員数



出典) 倉吉市 産業環境部 商工課

『山陰近畿自動車道』の整備促進 (鳥取～福部)及び(岩美道路)

要望



『山陰近畿自動車道(鳥取～福部)』は、『山陰道』・『鳥取自動車道』・『山陰近畿自動車道』の3路線を連結する結節点。

中核都市に移行した鳥取市を中心に、鳥取県東部圏域並びに兵庫県但馬地方の発展を加速させるためにも、平成28年度から着手している計画段階評価の促進と岩美道路の早期完成を図ること。

ツインポートによる地域活性化

鳥取砂丘コナン空港を「空の駅」化し、鳥取港と結ぶことでツインポート化を図り、高速道路ネットワークにより周辺観光などの移動の利便性を高めることで交流人口と地域の活性化を促進！！



鳥取港の利用は増加傾向



鳥取砂丘コナン空港の利用も増加傾向



経済界の取り組みも加速

鳥取、兵庫、京都の経済団体が山陰近畿自動車道を活かした圏域全体の経済活動の活性化について議論する交流会を開催！！

「平成29年度鳥取・豊岡・丹後地域経済団体交流会」
(開催日:平成29年12月8日)



山陰近畿道整備を決議

鳥取、豊岡、丹後の経済団体が参加した。オプザ市、京都府丹後地域の経済商工団体による交流会が8日、鳥取市内で開かれた。3府県をつなぐ山陰近畿自動車道の整備や観光振興などについて話し合い、同自動車道の早期全線開通や広域観光交流圏の拡充・強化に連携して取り組む共同決議を採択した。

各地の商工会議所など6団体の鳥取県東部商工会産業支援センターが参加した。オプザ市、京都府丹後地域の経済商工団体による交流会が8日、鳥取市内で開かれた。3府県をつなぐ山陰近畿自動車道の整備や観光振興などについて話し合い、同自動車道の早期全線開通や広域観光交流圏の拡充・強化に連携して取り組む共同決議を採択した。

藤縄匡伸会頭は「今後とも相互に連携し、共同決議に基づき取り組みを積極的に推進していきたい」と語った。

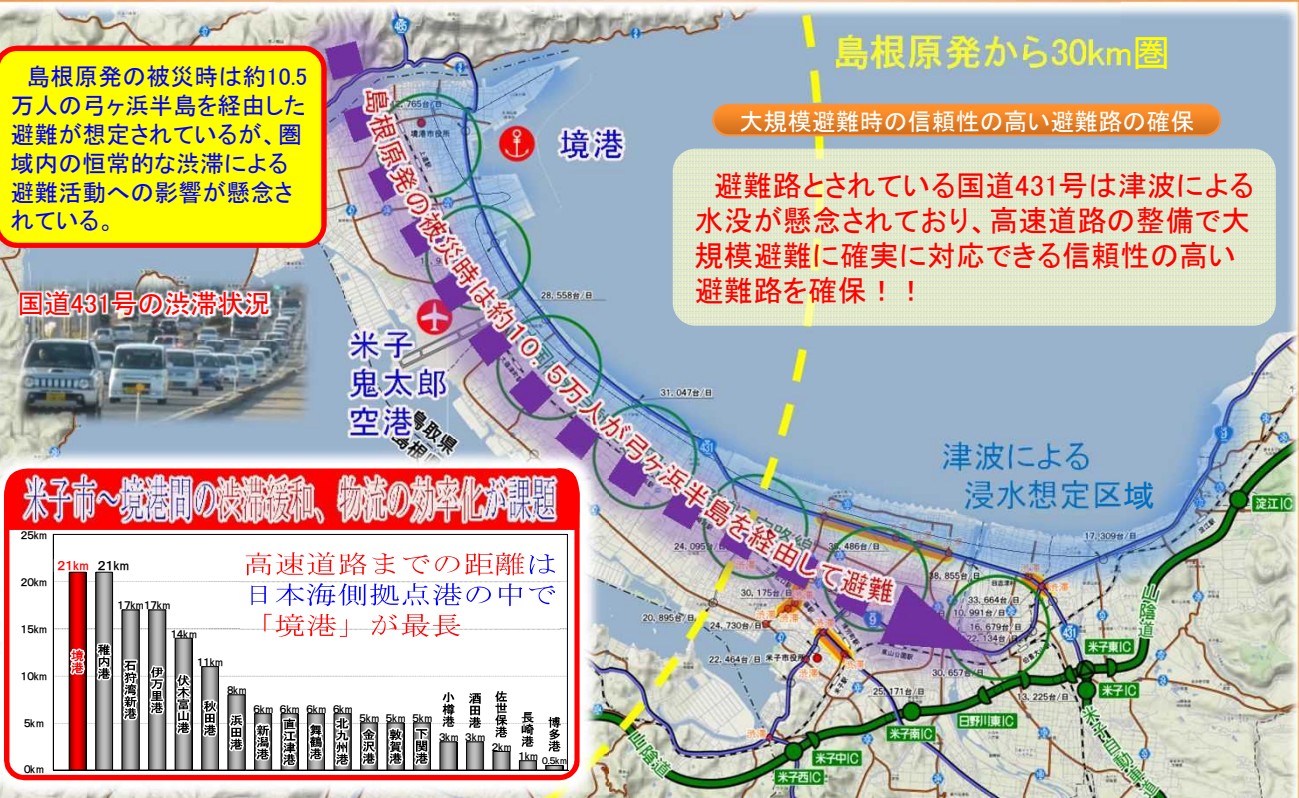
(真田透)

口真司部長が同自動車道の整備について講演し、産業振興のほか緊急医療や災害対策の側面からも3府県共通の課題としてより強くアピールすることが必要と訴えた。

懇談会では豊岡商工会議所が同自動車道の整備状況や報告、官商両者の連携を報告。官商両者の連携を報告。官商両者の連携を報告。

平成29年12月9日 日本海新聞

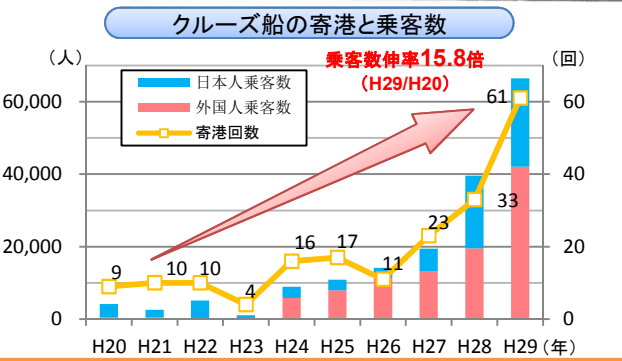
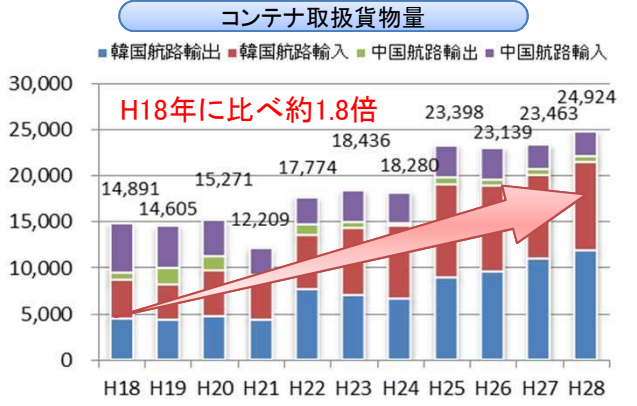
米子境港間の高速道路の検討の促進 **要望**



米子・境港圏域が持つ「強み」を最大限に活かして地域を活性化させるとともに、大規模災害に備え、周辺圏域を含め地域住民が安心して暮らしていける環境を整えるためにも、弓ヶ浜半島を縦断する高速道路の整備が不可欠であり、米子・境港間の高速道路の早期事業化に向けた検討を促進すること。

日本海側のゲートウェイとして発展

境港の機能強化が進み取り扱い貨物も増加し、クルーズ船の機構などにより外国人観光客も急増しており、高速道路の整備により圏域の経済活動を活性化！！



高速道路の付加車線整備の促進 高速性・定時性・安全性の発現!!

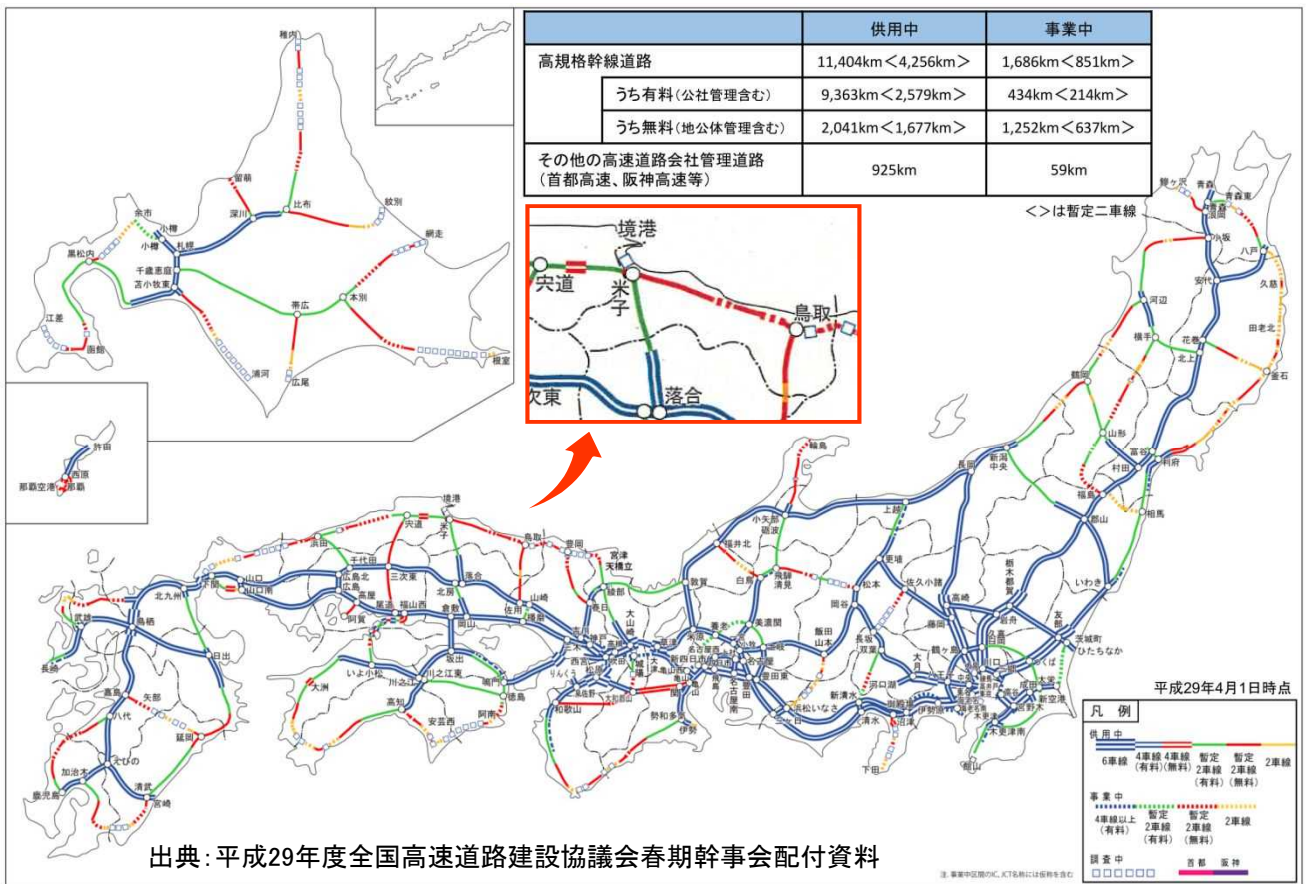
要望

『暫定2車線』で整備されていることにより事故や豪雪でたびたび通行止めが発生!!



鳥取県にはミッシングリンクが存在し 全区間暫定2車線整備

※部分的な付加車線整備区間は除く



高速道路の付加車線整備の促進 **要望**

『暫定2車線区間』で
降雪による長時間の通行止めや滞留が発生!!



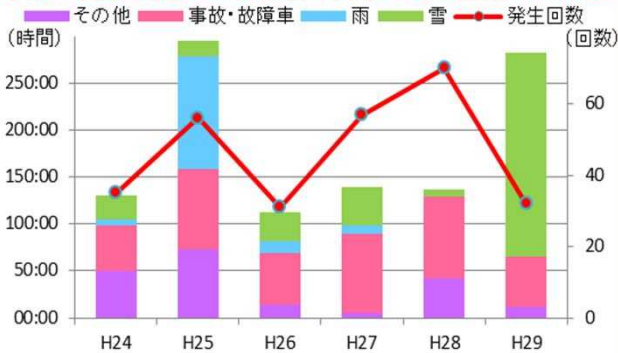
平成29年1月豪雪 米子自動車道の様子

平成29年1月・2月の
豪雪で延べ210台が滞留

豪雪により延べ161時間の通行止め!!

山陰道・鳥取自動車道・米子自動車道の通行止め状況

平成29年度は豪雪により3ヶ月で例年の2倍の通行止めが発生



出典：日本道路情報センター調べ (H29は1月～3月のデータ)

平成29年1～2月の温泉地入浴客数

豪雪による高速道路の通行止めにより
温泉地宿泊者も減少!!



周辺地域からのアクセス道路が止まったことで
宿泊予定者4,800人のキャンセルが発生!!

【地元の声】

- 米子道が止まったのでお客さんが来られなかった。
- 山陰道が止まったので東部から皆生に来られなかった。
- 全国的に報道され、今後の影響が心配。

キャンセルによる損失

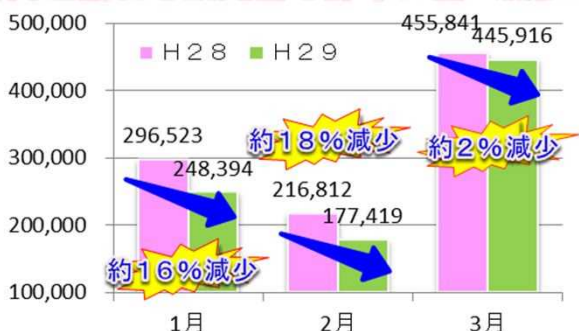
約1億円!!

※宿泊キャンセル数×宿泊1人当たり観光消費額

【観光消費額=23,393円 (H27鳥取県観光客入込動態調査)】

平成29年1～3月の主要観光施設入込客数

豪雪による通行止めの影響により
県内を訪れる観光客も昨年に比べ減少!!



高速道路の付加車線整備の促進 利用者の安心・安全の確保

要望



平成22年2月14日、米子自動車道（伯耆町金屋谷）
正面衝突事故による死亡事故発生。死者3名。

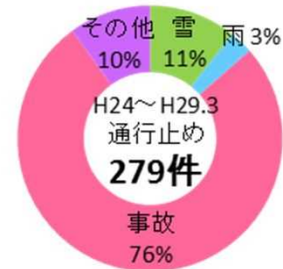
過去5年間で死亡事故が15件発生!!

県内高速道路等における交通人身事故発生状況

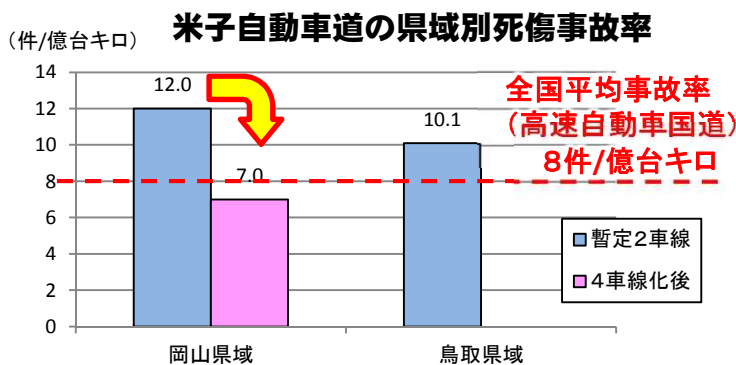
※ 通行止め原因の約8割は事故に起因!!



通行止め発生回数別の発生要因



4車線化により死傷事故率の大幅な減少が期待される



岡山県域では落合JCT～蒜山IC間の
4車線化(H23.12)により
死傷事故率が4割減少

出典：鳥取県域一とっとりWebマップ
(H24～H26発生人身事故)
岡山県域一交通年鑑(岡山県警察本部)
(H22～H25発生人身事故)
全国平均一第15回高速道路のあり方検討
有識者委員会資料

高速道路の付加車線整備の促進 強靱な道路ネットワークの構築

要望

米子自動車道(蒜山IC~江府IC)が通行止めとなった場合は、並走する国道482号を迂回路として使用しているが、大型車輛の通行の難所であるとともに、土砂崩落や雪崩などにより全面通行止めが幾度となく発生するなど、高規格幹線道路の迂回路としては脆弱である。

暫定2車線供用区間を解消することで、信頼性の高い強靱な高速道路ネットワークを構築し、国土強靱化を実現する。

脆弱な迂回路

(雪崩・土砂崩落など)



迂回路となる国道は脆弱!!



積雪による現道立ち往生
(場所:鳥取県江府町下蚊屋)



集中豪雨による土砂崩落
(場所:岡山県真庭市上徳山)

【蒜山IC~江府IC間 全面通行止め状況 (H22~H28年度)】

年度	期間	原因
H22年度	H23.1.17	雪崩
	H23.1.31 ~ H23.3.11	雪崩
H23年度	H23.9.3	土砂崩れ
H24年度	H24.12.27	事故
H25年度	H25.7.15 ~ H25.7.16	土砂崩れ
H28年度	H29.2.10	除雪

※H26、H27年度は事故、災害による通行止めなし



国道482号、雪崩で通行止め



米子自動車道の無料化措置
江府IC 蒜山IC
無料区間(約16km)
迂回路(約37km)

米子自動車道

米子自動車道の無料化措置は、米子自動車道の江府ICから蒜山ICまでの約16km区間を対象とし、2023年10月1日より実施されています。この措置により、米子自動車道の利用が促進され、交通の利便性が向上すると期待されています。

米子道の一部無料開放

協定自治体の要請受け初

西日本高速道路

現在米子自動車道の無料開放は、米子自動車道の江府ICから蒜山ICまでの約16km区間を対象とし、2023年10月1日より実施されています。この措置により、米子自動車道の利用が促進され、交通の利便性が向上すると期待されています。

要望

鳥取自動車道「志戸坂峠道路」の再整備 スタックポイント解消による信頼性の向上

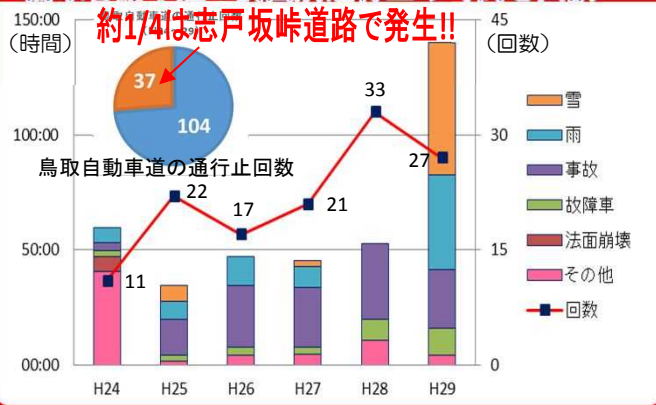
平成29年1月豪雪
県内で延べ161時間の通行止めと
延べ200台の大規模滞留が発生



平成29年1月豪雪 鳥取自動車道(峠詰橋付近)の立往生

スタックの頻発により高速道路ネットワークが度々寸断

鳥取自動車道の要因別通行止め時間と回数



通行止め時は隣県を超えた大規模う回!!



社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の重点的な配分について

《提案・要望の内容》

人口減少などによる地域の消滅が危惧される状況下で、住み慣れた地域で安心して暮らし続け、将来にわたって地域が発展していくためには、地域をつなぐ道路ネットワークなどの整備が不可欠である。

平成 27 年度には全国に先駆けて県下のすべての市町村が総合戦略を策定し地方創生に向けた取り組みを進めている中、基礎的な社会インフラ整備の遅れは、地方の衰退を助長し、地域の存続と活性化を目指す地方の取組を鈍化させることから、早期整備のため総額を拡大した上で、財政力の弱い地方へ重点的に配分すること。

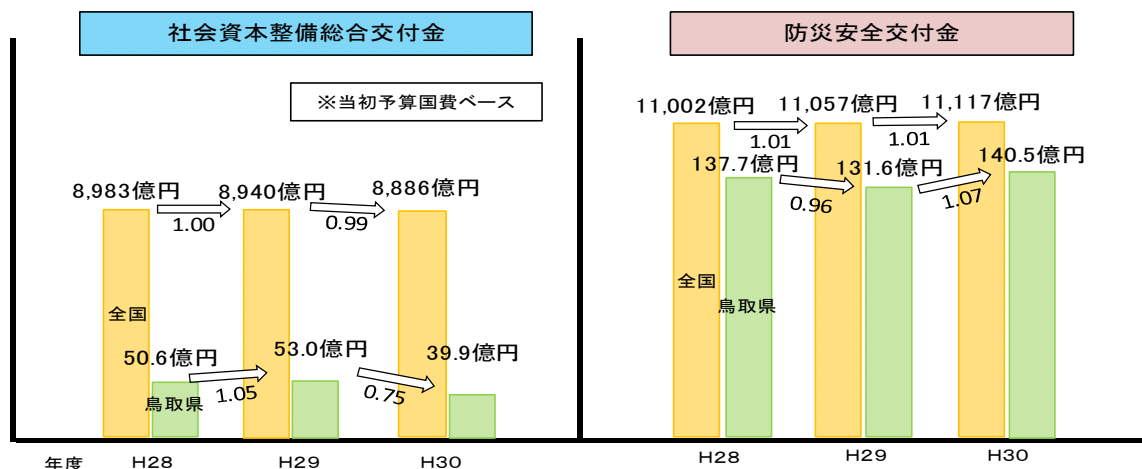
〔社会資本整備総合交付金〕

○本県における地方創生に向けた取組の推進に必要となる I C アクセス道路整備や地域を繋ぐ道路ネットワークの強化などのため、総額の拡大と財政力の弱い地方への重点的な配分が必要。

〔防災・安全交付金〕

○豪雪対策や減災防災対策、インフラ長寿命化、通学路の安全対策等、住民の安全・安心を確保する国土の強靱化と、喫緊の課題である鳥取県中部地震からの着実な復興を図るため、総額の拡大と財政力の弱い地方への重点的な配分が必要。

【配分状況】



〔社会資本整備総合交付金を活用した取組〕

＜観光資源の活用を支援＞ [KPI] 観光入込客数 1,100 万人/年(H31) ← 1,008 万人/年(H26)

- 三徳山・三朝温泉(H27.4日本遺産認定) ⇒ 県道鳥取鹿野倉吉線(三朝町)
- 山陰海岸ジオパーク(広域連携事業) ⇒ 県道網代港岩美停車場線(岩美町)

＜経済活動(企業誘致等)を支援＞ [KPI] 正規雇用創出 1 万人(H27~H30)

- 山陰道 IC アクセス・高田工業団地アクセス ⇒ 県道大山口停車場大山線(大山町平木~神原)
- 灘手工業団地のアクセス ⇒ 県道倉吉由良線(倉吉市)

〔防災・安全交付金を活用した取組〕

＜平成 28 年度の雪害(国道 373 号で 204 台が立ち往生等)を踏まえた雪寒対策の推進＞

- 堆雪帯、消雪・融雪施設の整備等

＜水害・土砂災害や大規模地震に備えるための防災・減災対策、インフラ老朽化対策、通学路の安全対策等＞

- 河川管理施設、港湾施設等の計画的な維持管理、更新等
(平成 28 年 3 月に「鳥取県国土強靱化地域計画」「インフラ長寿命化計画」を策定)
- 通学路の合同点検に基づく安全対策
- 米子駅南北自由通路等整備事業による歩行空間のユニバーサルデザイン化の推進等
- 土砂災害防止施設の整備率は 3 割弱と依然として低い状況(約 26%)
- 河川整備率は 5 割弱であり依然として低い状況(約 47%)